

紬織物のデザイン試作

渡 辺豊*

1. 緒 言

当所では、4 年前より産地主要製品の「いしげ結城紬」の脱力ジュアル化を目指し、新デザイン開発に取り組んできた。

今年度は、茨城県・石下町・(株)大凡デザイン室・結城郡織物協同組合で天蚕結城紬開発委員会を設置し、天蚕糸を使用した織物(天蚕結城紬)の共同開発を行った。

2. 内 容

2.1 いしげ結城紬の試作

- (1) 天蚕糸を随所に使用したもの。
 - (2) 天蚕糸を太くし、すくい織りの技術を利用したもの。
 - (3) 経糸・緯糸とも織り込まないで浮かし、その一方を天蚕糸で束ねて結ぶ。それら束の大小・長短・結び目の数により変化をつけ、絵羽調に仕上げたもの。
 - (4) 立体的な横の線を強調し、天蚕糸で刺繍または、縫い取りを表現したもの。
 - (5) グランド全体をむらぼかしに紺で表現したもの。
 - (6) 模様は天蚕糸、グランドは節のある紬糸で両者の特徴を強調したもの。
- 以上の方法により、着尺12 点、帯2 点の製品化を図った。

2.2 求評展示会「天蚕結城紬」の開催

平成5 年3 月4 日(京都)

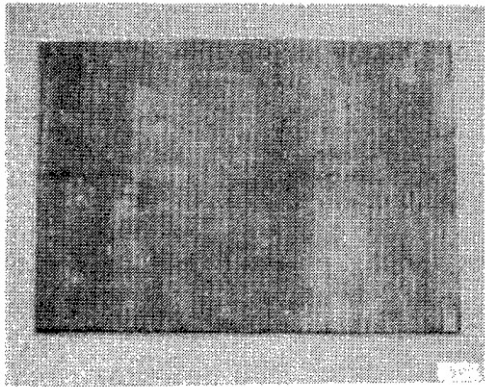
3 月10 日(東京)

2.3 アンケート調査

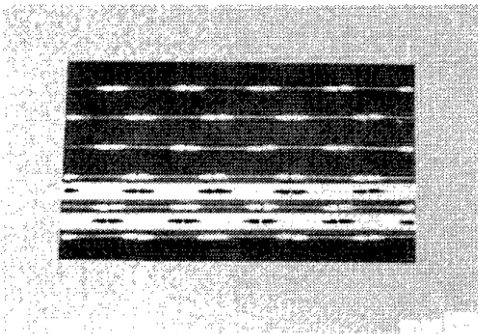
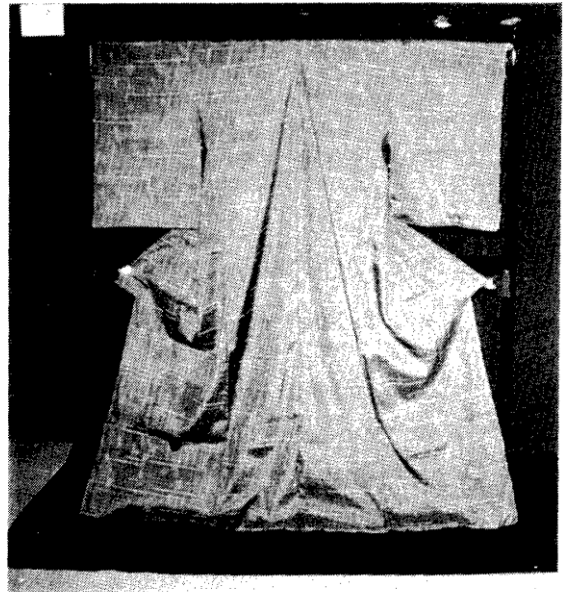
- (1) 対象一呉服問屋、小売業者、百貨店、マスコミ、一般消費者
- (2) 結果一全体的な感覚は良い、産地のイメージチェンジに効果的である、などの好意的な評価が得られた。

3.結 言

求評会のアンケートでは、「天蚕結城紬」について好ましい結果が得られたが、この先、商品としてどのように販売ルートにつなげていくかが重要な課題と思われる。

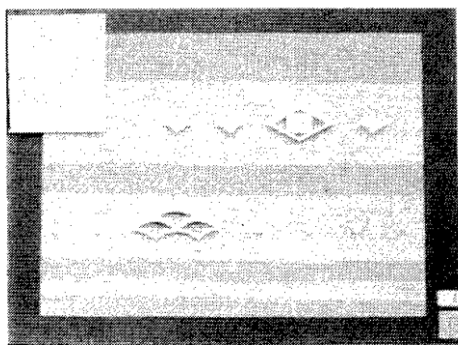


1. 紬糸を使い組織的にもう少しシボのある凹凸感を出すよう工夫する。
2. 紬糸風にした天蚕糸を緯糸で適当に入れて行き、市松風の色表現は後加工も考えられる。
3. 全体を経緯緋，あるいは，緯総緋で表現してもよい。

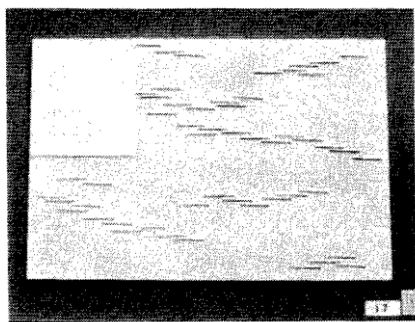
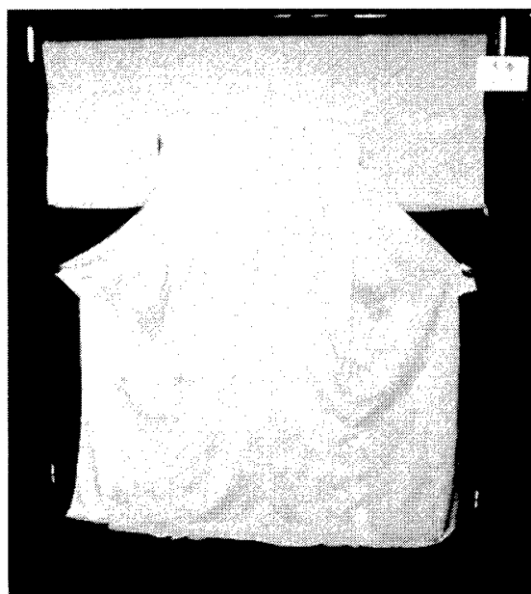


1. 白の真綿状の所は，天蚕糸の真綿をはさんで天蚕糸の緯糸を織りこんで表現する。
2. 逆に左の横ボーダー部分は，グランドを天蚕糸で，色の真綿状の所は絹糸の真綿を染めたものとかからめた緯糸で表現。
3. 横柄は要所だけでもよい。





1. 横段の荒い目の所は、横糸の打ち込みを少なくして透けた感じを出す。
2. 扇様の模様は、刺繍または縫い取りで、ここに天蚕糸を用いる。
3. 模様の中の色は、経緯緋または緯緋後加工で表現。
4. 全体に節のある紬糸を使用する。



1. グランドは、同じ色の仲間で緯あるいは経ボカシで表現。
2. 横立体表現部分は、天蚕糸をからめた太い糸により表現、反物全体では、要所にあればよい。

